

種目【生活科】

書名 項目	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ あたらしい せいかつ 下	2 東書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○児童の学びを生かした板書や掲示を背景の中で示している。 ○配慮しなくてはならないポイントについて、常に右上に記されている「やり方」の欄で、活動を限定しないように内容を精選し、簡潔に示している。 ○理科や社会科につながる問いかけを掲載することで、児童の学びへの意欲を喚起している。 ○カードの書き方を説明している実物大のページがあり、初めてカードを書く児童にとってお手本にしやすくなっている。 ○下巻で1年の四季の違いを表している口絵の部分が、見比べられるように左側のページになっており、変化を発見しやすい。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○挿絵にある吹き出しや表現作品、掲示物の例から、具体的に「何ができるようになるか」がイメージしやすい。また、児童の吹き出しや姿、表現作品が評価規準を示唆するようにできている。 ○下巻の「学びをふかめるコーナー」において、「深い学び」の過程である、対話によって活動を深める姿・新たな活動に向かう姿・表現活動の具体例が示されており、「深い学び」をイメージしやすくなっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○興味・関心に応じて、選択的・発展的に活用することができる「やってみよう」が随所に設けられている。 ○遊び図鑑などの活動の資料の種類が多く、どの児童にとってもやりたいことを見つけやすくなっている。</p> <p><具体的な活動や体験を通しての気づきの質を高めるための工夫> ○單元ごとに、中心的に活躍する登場人物を設定し、思いや願いを実現していく過程を共に体験しながら、資質・能力を育成することができるような構成を工夫している。 ○下巻巻末に「見つける」「くらべる」「たとえる」「ためす」「見とおす」「くふうする」など、気づきの質を高めるための学習活動が具体的にまとめて示されている。 ○カードの書き方や体全体をつかった表現方法を示すページなど、豊かな体験活動を支援する資料が多く掲載されている。</p>	
資 料	<p>○巻末資料「かつどう べんりてちょう」において、生活科の学習で身に付く習慣や技能をまとめてあり、活動に応じて活用することができるようになっている。特に、下巻では、学習を進めるうえで必要な習慣や技能である「学び方」を豊富に掲載している。 ○A4判にしたことで、活動の様子を示した写真だけでなく、学びのプロセスを挿絵と吹き出しで表しており、学習の見通しが立ちやすい。 ○「ほんとうのおおきさぼけつとずかん」は切り離すことができ、屋外での活動に持って行きやすい。 ○web上のコンテンツを保護者と一緒に活用できる「Dマーク」を付け、保護者と学びを共有できるように工夫されている。</p>	
表 記 表 現	<p>○特別な支援を必要とする児童も含め、すべての児童が読みやすいよう、單元名や本文は定位置に配置し、フォントや色相もユニバーサルデザインとなるように工夫されている。 ○全ての漢字にルビを振り、文節で改行して外国人の児童にも判読しやすく配慮されている。</p>	
総 括	<p>○A4の大きな教科書だが、紙を工夫してあり、教科書自体の重さはとても軽い。 ○家庭で保護者と学ぶため、保護者向けのスタートカリキュラムの説明や、単元の端々に保護者への説明が見受けられる。 ○挿絵にある吹き出しや表現作品、掲示物の例から、具体的に「何ができるようになるか」がイメージしやすく、学習の展開がつかみやすい。</p>	

種目【生活科】

書名 項目	たのしい せいかつ 上 みんな なかよし 下 なかよし ひろがれ	4 大日本
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○綴じ込んである「たんけんカメラ」は、パンチで穴をあけたのぞき穴から気になる対象をのぞき込む。穴が小さく覗き込みにくい、子供の視点を明確にすることができる。 ○身近な人々、社会、自然を対象とし、子供の発達段階に即した活動内容を取り上げている。 ○巻末にある「がくしゅう どうぐばこ」は、オノマトペをはじめとして、言葉を大切に取っている。 ○紙面を有効に使って、たくさんの参考資料を盛り込んであり、どの児童もやりたい活動を見つけることができる紙面となっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○答えを示さず、子供自身が考えたり、友達と比べてみたりするなど、子供自身の思考が促される資料の提示をしている。 ○表現活動を適切に位置づけ、多様な表現方法の例示や、伝え合いによる気づきの共有化を図っている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○スタートカリキュラムに配慮し、幼児期からの学びがつながる工夫をしている。 ○諸感覚を活用して自然と触れ合うことで、環境にも目を向け、大切にしようとする心を育むよう配慮している。 ○活動後の振り返りから、次の活動へつながる流れを示している。 ○下巻の「夜の長さってどのくらいかな」のページは、子供の探求心を高めることができるように作成されている。 </p> <p> <具体的な活動や体験を通しての気づきの質を高めるための工夫> ○学校のことを家庭で報告する場面を設け、家庭と連携し、生活の中で気づきの質を高めるようにしている。 </p>	
資 料	<p> ○子ども目線のダイナミックな活動写真が多く、興味・関心・意欲を引き出している。 ○巻末資料「がくしゅう どうぐばこ」で、幅広い知識を身に付けられるようにしている。 ○絵本みたいな絵、現代風の絵、イラスト風の絵など、いろいろな種類の絵になり、統一感に欠けるが、豊富なイラストで理解しやすく作成されている。 ○スタートカリキュラムは、入門期の児童が全てを見ることができかわからないほどの豊富な資料や情報が用意されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色などを使って、特別な支援を要する児童にも利用しやすくしている。 ○子供が登場する場面で、男女の数が平等になるように配慮するとともに、幼児、高齢者、肌や目の色が異なる人や障害のある人など、多様な人々と関わる例を取り上げている。 </p>	
総 括	<p> ○表紙の凹凸が手に心地よく、わくわくさせる効果がある。 ○綴じ込んである「たんけんカメラ」は、パンチで穴をあけたのぞき穴から気になる対象をのぞき込むことで、子供の視点を明確にすることができ、意欲的に取り組むことができる。 ○紙面を有効に使ってたくさんの参考資料を盛り込んであるが、情報量が多すぎ、中心とする情報が伝わりにくい。 </p>	

種目【生活科】

書名 項目	しょうがっこう せいかつ 上下	11 学図
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○もくじのページで1年間の学習をまとめて示し、見通しをもたせている。内容ごとの大単元構成にし、ねらいを明確にしている。 ○「ワンポイントアドバイス」を設け、基礎となる事項をわかりやすく示している。「ものしりの一と」は学習体験や知識が広がるように構成されている。チェックボックスで技能の習得を確認できる。 ○四季の様子をまとめて示したり、アサガオの生長を比較できるようにまとめたりしている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○自己決定する場面や解決していく過程を提示して、見通しをもたせている。 ○発達段階を考慮した記録例や多様な表現方法を示して、児童が気付きや思いを表現できるように促している。 ○個性的なキャラクターを登場させ、対話を通して友達の考えに気付くことができるように、多様な対話活動の様子を示している。 ○栽培飼育の記録や探検活動の記録などでは、ノートやカードの記録を重視し、それらを振り返ることで自分の成長を自覚できるように構成している。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元ごとにひとまとまりとした大単元方式で、活動を振り返り、自分の成長を自覚することができるようにしている。 ○友達をはじめ、他者とのかかわりを重視し、協力する態度が身に付くようにしている。「ありがとう」感謝の気持ちを伝える場面を示し、相手を思いやり感謝する気持ちを育てている。 ○自己決定の場を大切にしている。「アサガオ」の鉢に好きな絵を描いて「わたしの」アサガオという意識を高めるなど、自立へとつなげる工夫をしている。 </p> <p> <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○上下巻ともに生き物に触れる単元を配置して、動植物等の素材とも対話を通して生命・他者の尊重へつなげている。 ○栽培単元・飼育単元の活動を重視し、継続的に生き物とかかわる活動から、自然を尊重し、環境を守る態度を養えるようにしている。 ○課題のたせ方を2つの段階で変化させ、「見つける」から「深く調べる」へ発展させている。図書館を活用した調べる活動も取り入れている。 </p>	
資 料	<p> ○上下巻末の「学び方図かん」で、基本となる学習スキルや安全の事項を示している。下巻では、「試す・見通す」などの具体的な言葉も提示されている。 ○本文中に「ものしりの一と」として、記録やモノづくりなどの活動、参考となるページが充実している。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○装飾や指示を抑えたシンプルで見やすい紙面で、ポイントを視覚化している。単元が大きく4つの段階に分けて示されており、活動の展開に見通しがもてるように工夫している。 ○ユニバーサル化を徹底し、発達段階に合わせてわかりやすい表記を工夫している。 </p>	
総 括	<p> ○活動の様子を示した写真は美しく魅力がある。学習活動中の教師のコメントや吹き出しの言葉が評価の視点を示している。 ○家庭におけるかかわり方のヒントがふんだんに盛り込まれ、家庭を巻き込んで学習体験が広がるように工夫している。 </p>	

種目【生活科】

書名 項目	せいかつ 上 みんな なかよし 下 なかよし ひろがれ	17 教出
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○生活科で育成する資質・能力を6つの力にまとめ、サイコロにあてはめて見出し横に配置しており、児童が活動のめあてをつかみやすくなるとともに、指導のポイントがつかみやすくなっている。 ○上下巻の巻末に、生活科の学習に必要な他教科で学んだ知識や技能、習慣が整理されており、繰り返し活用することができるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○言語活動、身体表現、記録カード、新聞、手紙等の様々な方法で表現し、先生や友達と対話したり、じっくり考えたりして、深い学びへとつなげている。 ○「自分」を同じ目線で一緒に学習するキャラクターに投影することができる。また、生活科を学習する2年の間、一緒に成長していく教科書に出てくる2人の友達(花ちゃん・大地君)とともに活動しながら、比較や関連付けがしやすくなり、思考を深めることができる。 ○活動を見通したり、具体的に行う内容を考えたり、振り返ったりする場面に「空欄」を設けて、学びの足跡を残すことができる。 ○自分の考えを友達に伝えたり、友達や町の人にインタビューしたりする時の話し方を示す際に、全て示すのではなく、「○○がたのしかった。」のような話型で示すことで、自分の考えを広げることができる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の最後に「なにをかんだかな」という振り返りの時間を設け、自分との関わりで捉えた見方・考え方を育てることができるようにしている。また「まんぞくハシゴ」のコーナーでは、自分の思いを自己評価することで、自信や意欲を高めることができる。 ○「やくそく」や「できるかな」のコラム欄を設け、道徳科と関連を図りながら社会性を養うようにしている。 ○コラム「はってん」を設け、生活科の学びが3学年の理科や社会の学習につながるという見通しや期待をもつことができるようにしている。 </p> <p> <具体的な活動や体験を通しての気づきの質を高めるための工夫> ○キャラクター「はてな」の問いかけにより、活動の意義を理解させ、気づきの質を高めることができる。 ○担任の先生として登場するキャラクターが児童に問いかける吹き出しが多く、問いかけを読むことで自分が責任をもってやり通すことができるか等に気付かせることができる。 </p>	
資 料	<p> ○学習資料の動画にリンクするQRコードがあり、ICT機器を利用した活動につなげやすくしている。 ○スタートカリキュラムの部分や1・2年の学習内容全体において、言葉による説明が少なく、写真を通して自分で気づくことができる。 ○ページの下部にタブが印刷されており、年間を通して今何をやっているか、これからどんなことをするのかの見通しがつきやすいつくりになっている。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○「パラリンアート」を掲載するとともに、また、環境問題に関する資料を掲載している。 ○障がいのある人や肌や目・髪の色異なる人との共生について理解を深めようとしている。2学年の担任が男性になっており、性差別にも気を遣っている。 ○ユニバーサルフォントを用い、特別支援教育への対応を図っている。 </p>	
総 括	<p> ○生き生きとした活動の様子が分かる写真や思考を整理するためのツール（ウェビング・Xチャート等）を活用した板書を盛り込んだり、実際の授業の板書の具体例を端々に盛り込んだりすることで、教師がどのような流れで授業をするとよいかの見通しがつきやすい。 ○挿絵に児童を引き込む力があり、呼びかける言葉も精選されている。 </p>	

種目【生活科】

書名 項目	せいかつ 上 まいにち あたらしい せいかつ 下 だいすき みつけた	38 光村
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○児童自身に考えてほしい点—どうすれば—の印が示されている。活動を深く豊かにするヒントと「どうすれば〇〇できるかな」と問いかけ、学びが3段階になっていて、児童が場に応じて考え「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようになっている。また、同時に技能の習得にも繋がっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○子どもたちの思考の流れに沿った体験活動と表現活動の例を示されている。体験活動と表現活動を繰り返し、その相互作用の中で気づきを関連づけたり視点を変えたりすることで、気づきの質が高まるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○子どもたちの心を動かし活動にいざなう「ホップ」、学習のプロセスを明確にした「ステップ」、振り返ることで学びを深める「ジャンプ」の3段階で構成されている。学習の流れやねらいを明らかにし、興味を抱き学んでいくことができる。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫></p> <p>○単元の終末には、学びの「ジャンプシール」を貼る場所があり自分の活動を振りかえることができ、学びを深め日常生活につなげるようになっている。</p> <p>○教科書内では、ユーモラスなキャラクターが随所に現れ、子どもの興味・関心に応じている。キャラクターの二次元コードを読み取ることで、さまざまな資料（季節・交通安全・道具の使い方）を見ることができる。</p>	
資 料	<p>○幼稚園・保育所等の円滑なつながりや中学年への接続、また他教科と有機的につながる活動が随所に設けられている。上巻の導入には、スタートカリキュラムのページがあり小学校への期待感と安心感をもち学習できる。</p> <p>○イメージ豊かなイラストが子どもたちを活動へといざない、確かな学びが得られる。具体的に描かれたや学習のプロセスを明確化している。</p>	
表 記 表 現	<p>○児童が親しみやすくなるよう吹き出し等には、止め・はね・はらいなども正しく、手書き風書体を用いている。また、特設コーナーの見出しなどには、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザインが使われている。</p> <p>○教科書全般にわたり、性別・人種・身体的特徴・家庭環境・家族構成に偏りがなくなっている。</p>	
総 括	<p>○他教科で見つけた資質・能力を生活の学習でも活用できるように示されている。</p> <p>○今日的課題への取り組みが、言語能力の育成・学力向上・家庭との連携・ユニバーサルデザインなど、様々な特徴がみられる。</p> <p>○他教科との合科的・関連的な学習のヒントが随所に示されている。</p>	

種目【生活科】

書名 項目	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下	61 啓林館
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○基本的な知識及び技能や学び方が身につくように巻末資料「がくしゅうずかん」には、調べ方・記録の仕方・話し合いの工夫・まとめ方などが一連で示されたり、用具の使い方・安全上の注意などが示されたりしている。</p> <p>○「こんなときどうしよう」などの各種コーナーでは、基本的な知識及び技能や、あいさつ、マナー、安全に関する注意事項が学習できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動（見つける、比べる、たとえる、試す、見通すなど）の例が写真・表現物・イラスト・児童の台詞などで示されている。</p> <p>○単元が導入「わくわく」→主たる活動「いきいき」→ふり返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、学びのプロセスが分かるようになっている。その後、総合的な学習へつながるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○自分の良さに気付き、自分の成長を感じることができ学習活動が設定されている。また、互いのよいところに共感し合ったり、保護者からの手紙などで称賛したりして、認められるように配慮されている。</p> <p>○単元末「ぐんぐん」紙面では、学習をふり返り、自らの成長や学びの深まりを実感することができる。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫></p> <p>○活動の中で生まれた「次は、もっとこうしたい」などの思いや願いが、次の活動につながるように連続性のある単元が構成されている。</p> <p>○活動した楽しさやそこで気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化などで表現する活動がたくさん掲載されている。</p>	
資 料	<p>○キャラクターの発言やマークなどを用いて交通安全や道具を使うときの注意などが、的確に押さえられている。</p> <p>○上巻の導入には、幼児教育との接続としてスタートカリキュラムが掲載され、下巻の巻末では、中学年以降へのつながりとして「3年生へのステップブック みらいにむかって」の資料単元が掲載されている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○イラストの児童のつぶやきが、ヒントになり意欲・驚き・喜びを表現するきっかけになるよう工夫されている。</p> <p>○興味・関心を喚起する様々な写真が、適切に配置されている。</p> <p>○思いやりや願いが次の活動につながるようになっている。ぬくもりのある言葉があり、主体的な学びの実現につながる。</p>	
総 括	<p>○「これは、なにかな?」「やってみたいな」などの子どものつぶやきやこれまでの経験を大切にして、単元は、子どもたちの日常生活からはじまり、関心や意欲が高まるようになっている。</p> <p>○カリキュラム・マネジメントの視点から、他教科との関連や中学年以降の理科や社会科、総合的な学習の時間などにつながる学習活動を設けられている。</p>	

種目【生活科】

書名 項目	わたしと せいかつ 上下	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日 文</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○上巻の冒頭にスタートカリキュラムを特設し、幼児期の豊かな経験を生かして、文字が読めない入学時においても学校生活に自信がもてる構成となっている。下巻の冒頭では、2年生のスタートカリキュラムを設け、合科的・関連的が学習プログラムを示してスムーズな適応を図っている。 ○単元の導入で学習内容を整理して示し、見通しをもって学習していくようにしている。小單元ごとに、タイトル、児童の言葉、学習のめあてを示し、押さえるべきポイントをわかりやすくしている。 ○活動後の片付け方を示して、日常生活に役立てたりリサイクルの意識につなげたりするよう配慮されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターが示す気付きのヒントや思考を促す写真・吹き出しを工夫して、気付きの質を高めながら学びを定着させ、次の課題が見つけれられるように思考を促している。 ○学習カード例などでは「見つける」「たとえる」「比べる」「試す」「見通す」「工夫する」といった活動を織り込んで、無理なく学びを深めることができるようにしている。 ○実際の授業で、子供たちが考え、判断し、表現している姿を撮影した写真により、対話に満ちた活動をイメージしながら主体的に学習に取り組むことができるようにしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○上巻では主に自然とのかかわり、下巻では社会とのかかわりを中心に、2年間を通して生活を豊かにしていけるように構成されている。 ○下巻の最終単元では、身に付けた汎用的な知識・技能を、3年生以降の学習に活かせるような活動例を示し、円滑な接続を図っている。 <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びのまど」で活動を振り返り、自分の生活につなげるヒントを示している。気付きの質を高めるとともに、次の課題への意欲付けになっている。 ○実際に行われている授業の写真は、児童の好奇心をかきたて、具体的な気付きとなって学習の見通しをもつことができる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害、交通災害、人的災害の観点から安全への配慮を多く提示している。巻末に防災安全の資料を特設している。 ○2020 東京オリンピック・パラリンピックとの関連ストーリーを掲載している。(下巻) ○巻末資料「ちえとわざのたからばこ」で、知識・技能が自然に身に付くように学習材を豊かに示している。他教科の学びにつながる事例も掲載されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字に振り仮名をつけ、読みやすくしている。板書として示されている文字も、正しい書体で書かれている。 ○視覚障がい者用の点字を直接体験できるような、特殊印刷のページがある。UDに配慮されている。巻末の「点字にふれてみよう」では、凹凸のはっきりした指先でとらえやすい点字が示されている。従来より15%軽量化した紙を使用している。 ○紙面の全面に実践写真を掲載するなど、インパクトが大きく直感的に学習を捉ええられる。一方で、多くの資料が掲載されたページは視点がぼやけてしまっているところがある。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○シンプルなレイアウト、わかりやすいタイトル、各要素を紙面の定位置に置くことなどで、学習の見通しがもてるようにしている。 ○上下巻末が充実し、必要な知識及び技能、習慣が身に付くようにしている。他教科の学びにつながる事例も豊富に取り上げている。 	